京都大学大学院人間・環境学研究科の国際交流

世界から人環へ・人環から世界へ

No. 10　April 2015

Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 ＜通称「人環」（じんかん）＞ では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニューズレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流

第５０回国際交流セミナー
（２頁参照）

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けるのみならず、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています（表１参照）。

年度	2010	2011	2012	2013	2014
外国人研究員（客員教授・准教授）	6	5	5	5	5
招聘外国人学者	4	4	7	4	7
外国人共同研究者	5	4	1	2	1

表１　外国人研究者受入れ数（渡日時年度）　（人）

2014年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです（名前の後の（　）内は国籍／所属・身分）。

外国人研究員（客員教授・准教授）

（２頁でセミナーの様子を紹介していますのでそちらも合わせてご覧下さい）

- Pierre Martinez 先生（フランス／パリ第八大学名誉教授）
- Gérard Coquerel 先生（フランス／ルーアン大学教授）
- Jean-Claude Beacco 先生（フランス／パリ第三大学名誉教授）
- Bruno Viana 先生（フランス／国立科学研究センター局長、ピエール・マリー・キュリー大学パリ高等化学研究所教授）
- 張学鋒先生（中国／南京大学教授）

招聘外国人学者

- Brian Z. Tamanaha 先生（米国／ワシントン大学教授）
- Kenneth D. M. Harris 先生（連合王国／カーディフ大学教授）
- 王杰先生（中国／中国科学院成都生物研究所准教授）
- 仁科陽江先生（日本[ドイツ在住]／ボン 大学代教授）
- 徐華先生（中国／華僑大学教授）
- Rada Tivassen 先生（モーリシャス／南アフリカ共和国プレトリア大学教授）
- Helmut Schwichtenberg 先生（ドイツ／ミュンヘン大学名誉教授）

外国人共同研究者

- 劉驫（中国／日本学術振興会研究員）

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第４８回　2014年4月28日

演者　イブ-マリ・アリュー（Yves-Marie Allioux）先生
フランス元ストラースブール大学、トゥールーズ大学講師

演題　三人の日本のランボー：石川啄木・宮沢賢治・中原中也

第４９回　2014年7月24日

演者　ジェラール・コクレル（Gérard Coquerel）先生
フランス・ルーアン大学教授

演題　ノルマンディー：大学における歴史的事実と教育制度

第５０回　2014年10月23日

演者　ジャン＝クロード・ベアコ（Jean-Claude Beacco）先生
フランス・ソルボンヌ・ヌーヴェル・パリ第三大学名誉教授

演題　フランスとヨーロッパにおける移民について：多元的社会と多元的アイデンティティを巡って

第５１回　2014年11月5日

演者　ブルーノ・ヴィアーナ（Bruno Viana）先生
フランス国立化学研究センター局長、ピエール・マリー・キュリー大学パリ高等化学研究所教授

演題　熱ルミネッセンス：ルーヴル美術館と医療イメージングの新材料への利用

第５２回　2014年12月4日

演者　張学鋒先生
中国・南京大学教授

演題　墓誌から見た中国北朝時代の民族融合：司馬金龍家墓誌を手がかりとして

外国人留学生

本研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2014年5月1日現在1,732名（留学ビザの者）の留学生が在学していましたが、そのうち99名が本研究科で学んでいました（表２参照）。これは本研究科の全在学生635名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約16％に当たり、また、その出身地は24の国及び地域に及んでいます（表３参照）。

1991年4月の開学から2015年3月までの間に、114名の留学生が博士の学位を取得しました。

表２　外国人留学生人数
（各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ）

年度	留学生数
2010	１３５人
2011	１２１人
2012	１１８人
2013	１１１人
2014	９９人

表３　留学生出身国地域別人数
（2014年5月1日現在）

中国	56	韓国	7	台湾	7
ドイツ	3	ブラジル	3	米国	3
モンゴル	2	ロシア	2	インドネシア	1
ウクライナ	1	ウズベキスタン	1	オーストラリア	1
グルジア	1	ケニア	1	スペイン	1
ニュージーランド	1	ハンガリー	1	フランス	1
ベラルーシ	1	ペルー	1	ベルギー	1
マレーシア	1	リトアニア	1	ルーマニア	1

計９９

留学生オリエンテーション／懇親会

年度初め、新入留学生対象のオリエンテーションと懇親会を実施します。在学中の留学生や日本人学生も大歓迎！（写真は2014年度のオリエンテーション／懇親会の様子）

留学生見学旅行

本研究科では毎年11月、一泊二日の留学生見学旅行を実施しています。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい（詳細は10月初めに発表予定）。

過去3年間の主な旅行先：2012年度・東尋坊と金沢、2013年度・広島と宮島、2014年度・倉敷と四国。

2014年度留学生見学旅行から

倉敷で

金比羅さんの登り口

旅館の大広間で夕食

栗林公園で

うどん作りを体験

鳴門の渦潮が少し見えます

学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。以下、2015年4月現在留学中の4人を紹介しましょう（説明は、名前、人環の所属、留学先の所属・身分、奨学金等、留学期間）。

石田友里さん（思想文化論・修士２年生）

オランダ　ライデン大学人文学部交換留学生
大学間学生交流協定による派遣留学（2014年9月-2015年6月）

留学生オリエンテーション

大学の友人と街で

オランダ語コースの仲間と
コース終了のお祝い（右から
二人目が石田さん）

オランダで最古の大学の校舎
今は特別な講義や式典に使用

大喜祐太さん（言語科学・博士後期課程２年生）

スイス　チューリッヒ大学哲学部博士課程（客員研究員）
スイス政府奨学金（2014年9月-2015年9月）

スイス政府奨学生の会合で

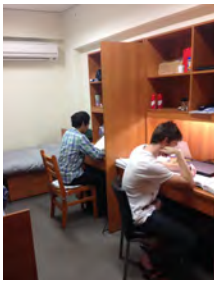
ルームシェアしているグルジア、
エチオピア、タンザニア、中国の
学生達と（右端が大喜さん）

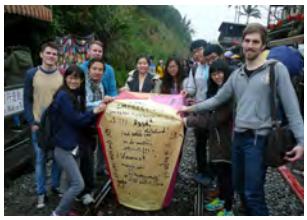
チューリッヒ湖岸から
旧市街を望む風景

齋藤隼人さん（言語科学・博士後期課程３年生）

台湾　國立台灣大學語言學研究所博士班交換學生
スーパーグローバル大学創成支援奨学金（2015年2月-2016年1月）

言語学研究所のゼミ（中央が齋藤さん）


留学生寮の部屋。チェコの
留学生と相部屋


（左）平渓の有名な天燈（ランタン）
（前列左から二人目が齋藤さん）

佐藤愛さん（比較文明論・修士２年生）

英国　マンチェスター大学人文学部修士コース
平和中島財団奨学金（2014年9月-2015年9月）

大学の構内

先生宅の忘年会で
クラスメートと

寮生仲間と街で
（左から二人目が佐藤さん）

◇URL

http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合せ先

＊国際交流委員／留学生アドバイザー 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp

＊京都大学大学院人間・環境学研究科　大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp